

PG 学選 2014

大会要項

1、大会のスケジュール

<3月11日（火）競技1日目>

6：30～ 7：00

足尾 PG ランディングにて受付

エントリー順でゼッケン番号を割り振る 1st クラス出場者は受付時に GPS を本部役員に渡すこと。

7：00～ 7：15

開会式

7：15～8：15

エリア説明（ランディング、飛行禁止区域、サブランディングなどの説明）

各大学のバンで先導者について移動

説明終了後 PG ランディングに戻る。

8：15～

選手は TO に移動。各大学のバンで山上げ。

その後各大学のバンを下げる。

大学のバンを下げたドライバーは大会オフィシャルバンにより TO に移動。

10：00～競技終了

各クラス競技開始予定

競技終了後解散。各自、風呂・夕飯など自由にする。

公民館に宿泊。

選手はスタッフの指示に従って行動する事。

<リフライトについて>

1st 競技開始前に競技委員長によって発表される。

2nd リフライトは何本でも認められるが、全フライトで最も得点の良いものを記録とする。

Open リフライトは何本でも認められ、その日の得点はすべてのフライトの累計得点とする。

<3月12日（水）競技2日目>

7：30～ 8：00

足尾 PG ランディングにて受付

8：15～

TO に移動

10：00～競技終了

競技開始

20：00～

nasa ショップ前か公民館でレセプション

夕食、風呂はこの時間までに済ませておく事。

またレセプション後の飲酒運転は絶対にしない事。

<3月13日（木）競技3日目>

7：30～ 8：00

足尾 PG ランディングにて受付

8：15～

TO に移動

10：00～競技終了

競技開始

各クラス競技開始予定

競技終了後解散。各自、風呂・夕飯など自由にする。

公民館に宿泊。

選手はスタッフの指示に従って行動する事。

<3月14日（金）競技4日目>

7：30～ 8：00

足尾 PG ランディングにて受付

8：15～

TO に移動

10：00～競技終了

競技開始

17：00～

nasa ショップ前にて授賞式および閉会式

*大会スケジュールは天候などによって変更する場合があるので、その時は大会実行委員および、学連PGリーグの指示にすみやかに従うようにしてください。

2、参加機体

運用限界が明記してあり、かつ、シリアル機に限る。

※シリアル機・・・EN 規準あるいはLTF (DHV) 規準に適合していると、CIVL あるいはJHF の認めた認証機関が認定証を発行した機体および認定証を発行された機体と同型機でサイズの違う機体で、どちらも改造されていないものを言う。

3、機体の変更

大会中使用する機体は原則として1機とするが、破損などにより安全性に問題が生じた場合にのみ、競技委員長と大会実行委員長の許可を得て変更できる。

4、装備

全選手は120日以内にリパックした緊急用パラシュートを装備すること。

適切な防護用ヘルメットを着用すること。

スカイレジャー無線機を装備すること。飛行中の無線機の使用は、安全上緊急を要する場合以外の使用は禁止するが、飛行中の選手は、大会本部からの連絡は常時受けられるようにしなければならない。また、バラストの使用は認めるが、水以外のバラストの投下は認めない。

5、大会役員の権限

大会中は、大会役員の指示に従わなければならない。大会役員の指示に従わない、競技の進行に支障をきたすような行為をした選手には警告を与え、そのフライトを失格にする場合がある。

6、抗議

抗議申し立ては、トラブル発生1時間以内に、供託金10,000円を添えて文書にて大会実行委員長に提出すること（この際連名での抗議は受け付けない）。抗議が受け入れられた場合のみ供託金は返還される。ただし、最終日は20分以内とする。

7、フライト失格

雲中飛行など、危険な飛行と判断される場合、役員の判断でそのフライトを失格とする場合がある。

8、警告

大会期間中、危険行為または大会を故意に妨害する行為を行った場合、「警告」とする。2回「警告」を受けた選手は大会失格とする。ただし、重大な危険行為または大会への妨害行為を行った場合は、その時点で大会失格とする。

9、 事故および損害賠償

大会期間中、万一事故や傷害、損害が生じた場合、エリアルールに従い、本人の責任において速やかに対処を行い、大会本部に報告すること。また、主催者及び大会関係者に対して責任追及、損害賠償の請求を行わないこと。

10、 フライトの成立及び大会の成立

1 s t クラス競技規定、2 n d クラス競技規定、OPEN クラス競技規定に従う。

11. 順位の決定

1 s t クラス競技規定、2 n d クラス競技規定、OPEN クラス競技規定に従う。

12. アウトランディング

アウトランディングしなければならない時は本人の責任によって第三者に被害を与えず、なおかつ本人の安全を確保できる場所を探しランディングし、エリアルールに従うこと。その場合、機体の回収は自己の責任において行うこと。なお、パラ東メイン LD、パラ西 LD、モーターパラ LD 以外はアウトランディング扱いとする。フライトを終えた選手は、なるべく回収作業を手伝い、回収時間短縮に協力すること。なお、アウトランディングした者はそのフライトは失格とする。

13. 飛行制限

「足尾山フライトエリア規則」より、

- ① 筑波山ロープウェイつつじヶ丘駅を起点とし、女体山駅を終点としたロープウェイ施設に対し、半径 200m 以内及び上空 200m 以下を飛行禁止空域とする。
- ② つつじヶ丘駅駐車場はランディング禁止とする。
- ③ 筑波山神社上空 200m 以内を飛行禁止空域とする。
- ④ 筑波山鋼索鉄道（ケーブルカー）宮脇駅を起点として、筑波山頂駅を終点としたケーブルカー施設に対し、半径 200m 以内及び上空 200m 以下を飛行禁止空域とする。

また、上記エリア規則に加え、風車、ゆりの郷上空の低空飛行も禁止とする。なお、違反した者はそのフライトは失格とする。

旋回方向はエリア規則に従い、偶数日は右旋回、奇数日は左旋回とする。

14、OPEN クラス ターゲット得点範囲

OPEN クラスのターゲットの得点範囲の半径は 15 m とする。半径 15 m より外に出た場合、0 点とする。

ターゲットの中心（半径 50 c m）を満点とし中心から 50 c m 離れるごとに－5 点し

得点を出す。

以上の得点範囲は当日の条件により、競技委員長の判断により変更する場合がある。

1 5. 駐車場

駐車はスタッフが指示した場所に駐車すること。

1 6、エリア案内

<http://nasa.ne.jp/>